

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務Ⅱ Travel Agency Job-Domestic Travel II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(旅行業務取扱管理者試験必修)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
手塚 知代美	講師室	木曜日 10時～16時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
前期で学んだ国内旅行実務の知識をさらに深め、国内旅行を計画するにあたって必要な交通機関の運賃・料金、宿泊機関の規則や計算の方法および国内観光資源を学びます。併せて、旅行業法・旅行業約款についても学習することで旅行業界全体の仕組みを学びます。また、国家資格である「旅行業務取扱管理者試験」にも対応するものとします。				
授業の目標				
①各種運賃・料金の計算をできるようにする。 ②観光資源への理解を深めることができるようにする。 ③旅行業法・約款を学び、旅行業界の仕組みを知ることができるようにする。 ④国家試験にチャレンジできるレベルに達することができるようにする。				
授業の方法				
講義が主体となりますが、理解を深めるために演習問題にも取り組みます。				
学習の成果（学習成果）				
前期で学んだ国内旅行実務の知識をさらに深め ①JR・航空・私鉄などの交通機関の運賃や料金の算出の仕方および宿泊機関などの料金の算出方法を身に付けることができるようになる。 ②旅行業法・約款、観光資源を併せて学ぶことにより国内旅行商品の基本構造が分かるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	国内観光資源Ⅰ			
第2回目	国内観光資源Ⅱ			
第3回目	国内観光資源Ⅲ			
第4回目	国内観光資源Ⅳ、小テスト			
第5回目	JR運賃規則Ⅰ			
第6回目	JR運賃規則Ⅱ、小テスト			

第7回目	JR料金計算Ⅰ	
第8回目	JR料金計算Ⅱ、小テスト	
第9回目	旅行業法Ⅰ	
第10回目	旅行業法Ⅱ、小テスト	
第11回目	旅行業約款Ⅰ	
第12回目	旅行業約款Ⅱ	
第13回目	旅行業約款Ⅲ、小テスト	
第14回目	フェリー運賃・料金、試験	
第15回目	国内航空運賃・料金、貸切バス運賃・料金、宿泊料金	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。必要なことはノートに取り、積極的に質問する。また、履修上の留意点・ルールをしっかり守れていること。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト	20%	各单元ごとに小テストを行い、理解度を確認します。 S評価の基準：S＝90-100
試験	60%	14回目の講義時間に試験を行います。 S評価の基準：S＝90-100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：2015年版　U－CANの国内・総合旅行業務取扱管理者　速習レッスン（U-CAN学び出版） 参考図書：『旅行業法・旅行業約款』『国内運賃・料金』『国内観光資源』『国内観光地理サブノート』（JTB総合研究所）		
履修上の留意点・ルール		
遅刻厳禁。私語は慎むこと。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。 国家資格取得のためにも、継続的な学習が望まれます。復習は必ず行ってください。		